

## 9. 染色布の洗濯・日光堅ろう度試験に関する研究

### 第2報 半合成繊維及び合成繊維について

昭和女子大 内田 武

小沢 治子

1. 前報（昭和34年総会）で木綿及びレーヨンの市販各色染色布について洗濯・日光堅ろう度を調べ、その結果をJISによるグレースケールの格付けと、光電分光々度計による色差と比較し両者がほとんど一致することを確認した。両試料とも比較的堅牢な染色であった。今回は合成繊維をとりあげた。

2. 試料はアセテート・ナイロン、カシミロンの赤・黄・青・緑・黒の各色を使用し、実験方法はJISにもとづいて堅ろう試験を行ない、その結果を光電分光々度計にて測色し、染色濃度・主波長・刺激純度・色差等について検討した。さらに引張強さについても色相の差による強さの減少率について検討した。

3. イ、使用染料の種類により明らかな差が現われるが、しかし同種属染料においても繊維の相異により堅ろう度は左右される。

ロ、色相の上からは赤色が最も堅ろう度が低く、黒色は堅ろう度が高い。

ハ、今回の試料は特に洗濯堅ろう度が非常に低かった。これは使用染料の種類によるものであるが、これらの洗濯に際しては十分注意すべきである。

ニ、JISのグレースケールによる判定と、光電分光々度計による色差とほとんど一致した。